



福山市障がい者  
総合支援協議会

つうしん

Vol.12

福山市障がい者総合支援協議会は、  
「障がいのある人が普通に暮らせる地域づくり」をめざしています！



2023年度 障がい者週間 受賞作品 優秀賞 パンネム/聞こえないネイリスト  
ひかり  
『コミュニケーションの光 “Hand to Hand”』

障がい者総合支援協議会は、保健・医療・福祉・教育・就労など多分野多職種の関係者が集まり、障がいのある人の地域生活における課題等を共有し、その解決に向けて取組みを進めています。

## 第2回 研修会・ネットワーク会議を

開催します！！

- ◆日時 2025年3月8日(土)  
研修会：13:20～15:00(受付：12:50～)  
ネットワーク会議：15:15～
- ◆場所 福山すこやかセンター1階 多目的ホール
- ◆テーマ 『子どもたちを傷つけない集団づくり』を  
障がいのある人の支援にいかそう！！

詳細は  
中をご覧ください



11/1  
(金)

## 就労支援部会 で 中小企業家同友会さんと意見交換 を行いました！！ (障害者問題委員会)



### 目的

当部会では「障がいのある方々の自分らしい働き方の実現のために」を柱に働くことに携わる様々な機関で構成され取組みをしています。

本人が働きたい時にどのようにすれば良いか最初の入口に対する支援として、本人の能力やどんな働き方をしたいのかまた合っているのか等をしっかりと調査する就労アセスメントを近年の取組みで作成しました。これにより入口に立つことは出来たのですが、次の一步を踏み出すためには面接をクリアしなければならず働く場に繋げることへのハードルはまだ高く、せっかく本人に働く能力があっても実際に踏み出せない方々がおられます。そのため部会の次の取組みとして「働くことを体験する場を実現するためには」をテーマとし、まずは見学や実習といった働くことを体験する場に結びつけるために何が出来るのかを考えるなかで、今回、雇用主・一般企業の目線で意見を頂く機会として、中小企業家同友会より4名の方をお招きし、意見交換を行いました。

活発な意見が飛び交うなか、同友会の皆様は個々のご本人さんにあった様々な工夫を行い働くことを支えて下さり、受け入れた以上「企業内総幸福」として幸せに導くという心強いご意見を頂きました。となると…やはりその前段階の働くことの扉を開ける機会が大切であり体験や実習を気軽に行う事の出来る仕組みづくりを当部会において実現することの必要性を実感した意見交換会となりました。



部会委員からの様々な質問にお答えいただきました！！

今後も同友会の方々と連携をしながら、取組みを進めてまいります！



たくさんのご感想をいただき、大変好評の研修会でした！

11/14  
(木)

## 第1回 研修会

### 「知的障がいのある人の思いを聞いてみよう」

開催しました！！



### 研修会

総合支援協議会は、障がいのある方の思いを聞くことを大切にしています。そこで当事者の方が困っていることや願いなどを直接お聞きし、何が出来るかを考えました。

研修会では、知的障がい当事者の方3名にご登壇いただき、①自己紹介 ②どんな役割を担っているか ③好きなこと・楽しみ ④困っていること ⑤困ったときに誰に、どんな相談をしている？ ⑥どんなことをしてもらえたら助かる？ ⑦ねがい・希望 の7つの質問にインタビュー形式でお答えいただきました。

### 感想

- ・当事者の方から話を聞ける機会をただけて大変感謝しています。思いや考えを聞き自分たちの職場でどうするべきかを考える日となりました。
- ・当事者の方の実際の言葉で思いが聞けて良かった。
- ・障がいのある方の思いも沢山あると感じました。今後に生かしたいです。
- ・人前での発表は大変だったと思いますが、生の声が聞けて良かったです。
- ・自分自身の支援をもう一度見直し、支援に活かしていきたい。
- ・思いを知り、歩み寄る大切さを感じた。



12/2  
(月)福山市連合民生児童委員協議会 第一部会研修で  
民生児童委員のみな様とグループワークをしました！！問題  
提起

近年、地震などの自然災害による被害が各地で起きている中で、今回で3回目になる障がい者の災害時の避難支援に向けて「災害が起こった時にどうするか。どうしたら安心できるか」をテーマにした研修会が行われました。障がい当事者は災害時に何に困るのか。また、周りの人は何に困るのか。「災害時、障がいのある人が困っていること、理解して(わかって)ほしいこと」について、障がいの理解やその特性に応じた必要な配慮について説明を聞いた後、13グループに分かれて福山市身体障害者団体連合会、福山ろうあ協会、福山手をつなぐ育成会、神辺育成会よりご協力いただき、当事者やその家族より「災害が起こった時に、どんなことに困るのか」について思いを伺いました。当事者や家族の思いを受けて、民生児童委員として「どんなことから“はじめて”いくか」ということについて話し合いました。

感想

- ・何かあった時に近所の助け合いについて、どうしていくかを話し合うことや研修に参加することで当事者の思いや関り方を「知る」ことが大切である。
- ・地域性もあると思うが、まずはご近所さんと交流や地域の声かけを通して地域力をあげていきたい。
- ・災害時ということで話し合いをしたが、今回の話し合いの中でいろいろな現状の問題点を共有することができる機会であった。
- ・普段から個々の状況に応じた見守り体制や、地域で役割を決めておくことも大切。
- ・お互いが歩み寄り、知っていくことが大切という事に気が付いた。



お申込み・問合せは  
事務局まで  
お願いします！！

3/8  
(土)『子どもたちを傷つけない集団づくり』を  
障がいのある人の支援にも生かそう！！研修  
会

近年、教育現場では「教室マルトリートメント」(川上康則著)が話題になっています。教員が無自覚に行っている児童・生徒への対応の中に、マルトリートメント(不適切なかかわり)に当てはまると問題提起している内容です。この内容を基にした「子どもたちを傷つけない教室づくり」の考え方や実践は、学校だけでなく障がい福祉に携わる人たちにとっても大切なことです。総合支援協議会として一緒に考えていきたいと思えます。

《講師》<sup>つつみ のぶゆき</sup> 堤 信之さん(広島県立小学校 校長)

《内容》☞「教室マルトリートメント」とは…「叱る」について考えてみましょう

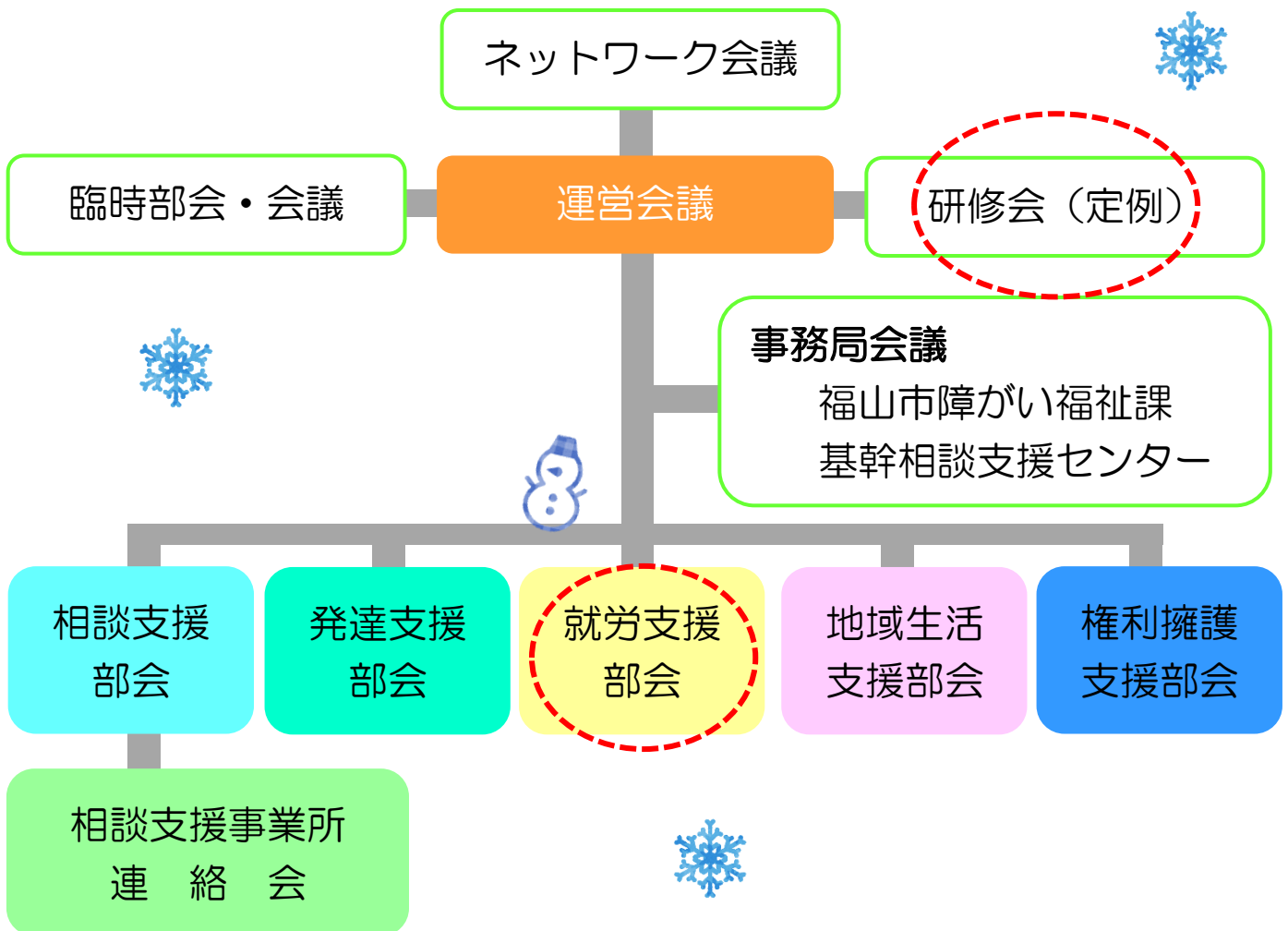
☞ 職員室を安心できる場所にする…法務省 みんなともたち マンガで考える「人権」参照

《定員》90人(※要申込)《対象》どなたでも参加できます 《参加費》無料

ネット  
ワーク  
会議

研修会終了後の15時15分～16時15分に行います。  
障がい者総合支援協議会の活動報告を行います。どなたでも参加できます。

# 福山市障がい者総合支援協議会 組織図



障がいのある人やその家族、福山市で暮らす皆さまにご利用いただけるように  
各種の冊子やガイドを作成しています。

ぜひ一度ご覧ください！！

各種冊子や  
「つうしん」  
を掲載中♪



<https://www.f-shakyo.net/syogaisyashien/>  
(福山市障がい者総合支援協議会ホームページ)

福山市障がい者総合支援協議会



質問・ご意見等ありましたら、お気軽にご連絡ください

〈発行〉 福山市障がい者総合支援協議会

〈事務局〉 福山市障がい者基幹相談支援センター(クローバー)

住所：福山市三吉町南二丁目11-22 福山すこやかセンター内

TEL：(084) 973-0968 FAX：(084) 926-7111

Mail：f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp